

三四一番

賢^{さか}しみと 物^{もの}言^いふよりは 酒^{さけ}飲^のみて 醉^あひ泣^なきす
るし 優^{まよ}りたるらし

三四二番

言^いはむすべ せむすべ知^しらず 極^{きは}まりて 貴^{たふと}き
ものは 酒^{さけ}にしあるらし

三四三番

なかなか 人^{ひと}とあらずは 酒^{さか}壺^{つぼ}に なりにてし
かも 酒^{さけ}に染^しみなむ